



PTAだより～特別号

日頃PTA活動にご協力、ご理解を賜り心より感謝申し上げます。

去る7月に令和3年引き渡し訓練に関するアンケートを保護者様対象に実施させて頂きました。アンケート結果として大変内容が濃く、いかに日頃皆様が防災について深くお考えでいらっしゃるかが読み取れるものでした。つきましては今回PTAだより「特別号」としてアンケートの結果および災害が発生した時の学校の生徒引き渡しに関する指針をご報告させて頂き、学校と各家庭の情報や意識を共有しいざという時の対策の礎（いしずえ）になれば幸いです。

引き渡し訓練意識調査アンケート結果

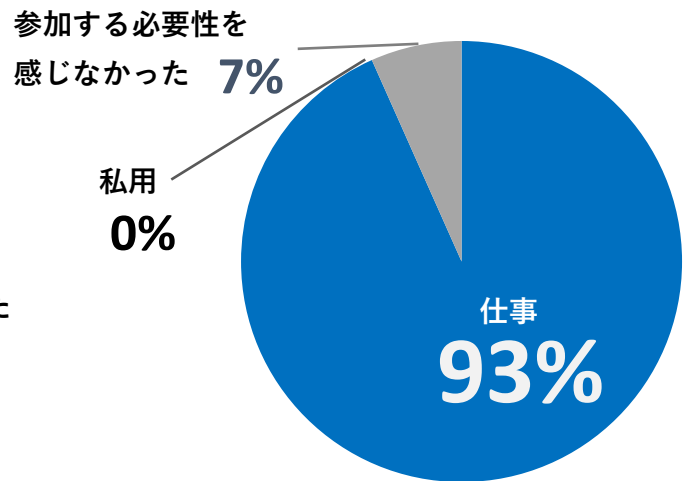
問1 あなたのお子様の学年を教えてください

1学年	2学年	3学年
24人	33人	44人

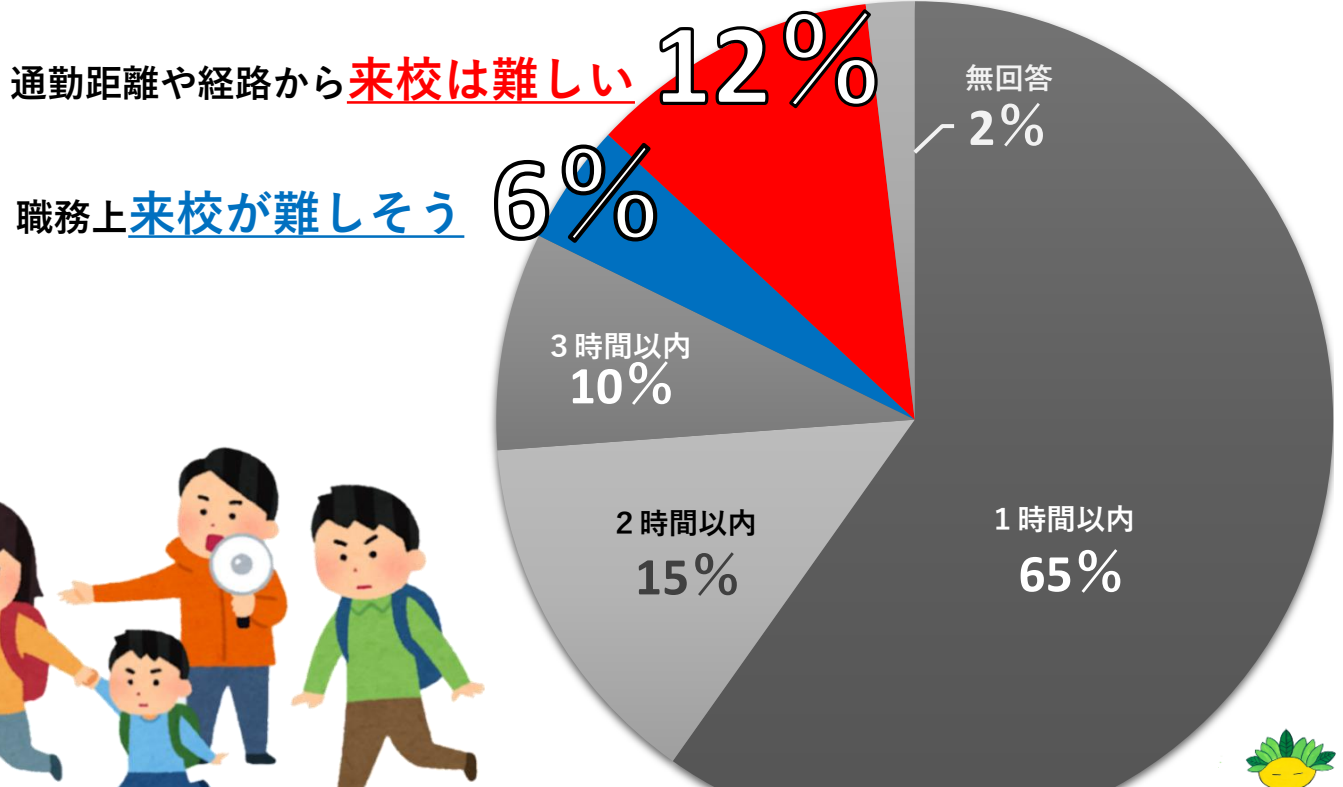
問2 引き渡し訓が予定通り実施されていたら参加しましたか？

参加した	参加しなかった
78人	23人

問3 参加しなかった場合の理由を教えてください



問4 14時以降に発災したと仮定して公共交通機関を使用せず勤務先から何時間以内に来校が可能ですか（代理人含む）



問5 学校で使用している『東京防災』などを活用して、安全な避難場所や方法、避難経路（通学路を含む）について、家庭で具体的に話し合っていますか

話し合っている

話し合っていない

31人

68人

話し合いは必要と思いつつしていなかったとの回答も...

28名の方の回答

避難場所：七小・七中・公園・各家庭で決めた場所

1学年 避難場所・防災用品について

2学年 避難場所・防災用品について・通学路の危険場所

3学年 避難場所・災害用品の使用について（ガス・水道・電気は使用しない）・災害用伝言ダイヤルの使用方法・3,11を教訓とした話し合い

問6 問5で①話し合っていると回答した方へ具体的な内容について

【1年生】

- ・両親のうち、どちらかが誰（兄弟の中で）を迎えに行くか、最終的にどこに集まるかなど話している
- ・第1に自分の命を守るように行動する、家の中だったら物が倒れてこない安全な場所に逃げる、外だったら学校や公園へ避難、避難する時に最低限必要な物は何か？など



【2年生】

- ・家以外の場所で被災した場合は学校（七中）に集合
- ・小学校時避難場所など話し合った、もう一度話した方がいいと思う
- ・通学路で危険な場所はないか、親がいない時はどこに避難するか、家を空ける時どうするか、持ち物など
- ・非常時の家族の集合場所



【3年生】

- ・七小に妹がいるため、避難場所は七中ではなく、小学校にすることで、連絡が取れなくなった時、家族が集合できるようにしている
- ・家の中が安全でない場合は七小へ避難、ラインやスマートフォンが使えない時は災害伝言ダイヤルで自宅番号にかけて、お互いに安否を伝える
- ・待ち合わせ場所を決めている、もし親がいなくても避難する時は七中と決めて防災バックのありかの共有、学校で被災した場合は学校にとどまることと話している

171

171

災害伝言ダイヤル



- ・自宅が倒壊した時の避難場所は自宅の安全が保てない場合は七中もしくは武小に避難、登下校時に被災した場合は基本的には七中に行く、両親とも職場の救助活動等で施設の被害状況によって発災当日は帰宅できないことがある事、姉も学校が都外で帰宅が困難になることが想定される事、自宅にいた場合は自分だけでは安全確保が難しいため使用できるかどうか判断できるまでは防災用品以外の物を使用しない事（特にガス、水道、電気、トイレ（下水道）は絶対に使用しない事）

・家族はそれぞれの場にいた時はとりあえずそこに避難しておくかは一致さ



せている（例えば第七小学校へなど）

- ・避難場所は7中、徒歩で行く



問7 今回のような引き渡し訓練は実施した方がよいですか

そう思う

そう思わない

どちらとも言えない



問8 引き渡し訓練を実施すると聞いて感じたこと

【1年生】

- ・「中学生になってもやるのか」と思ったが、子供はまだ1年生で小学校を出たばかりなので、引き渡し訓練が行われることにはそこまで違和感を感じなかった。
- ・予想外の事は頭の中がパニックになると思われるのでイメージを膨らませるためにも大切な事だなと感じている。
- ・保護者としては実際に迎えに行くだけになってしまっているので、仕事などの場合どうやって引き取りするのかなど考えておくことの方が大事だと思った。
- ・下に兄弟がいる家庭などでは実際になかなか難しいのかなぁと思った。ただ、こういった訓練があることで、迎えに行ける、いけないなどを含め、家庭で話し合うきっかけになると思う。話し合っておくことが大事だと思うので、ぜひ続けていただけたらと思う。
- ・実際に災害が起きた時、訓練のようにスムーズにはいかないだろうし、学校に残られない場合もあるだろうし…そう考えると引き渡し訓練の必要性がよく分からない。情報交換の場として活用できる面ではあっていいと思った。訓練がある日だけでなく災害についてもっと意識して生活しようと思った。



【2年生】



- ・地震に限らず昨今天災や悪質な事件も多く、学校だから安全だと安心してしまふ私たちのような保護者も多いと思うので、こういった緊急にもすぐ冷静に対応できるように常に訓練をしていただけるととても心強い。
- ・まずは、引き渡し訓練を実施し、皆の感じた事を話し合う場を持つことからなのかなぁ…と感じた。
- ・引き渡し訓練は仕事を休まないと参加はむずかしい。訓練の段階では途中で職場を離れることが中々できないのが事実。
- ・小学校では防災頭巾を置いていたが、中学校には生徒用に何か備蓄があるのか、ないのであれば置いてよいのでは。持ってくるようにと声をかけてほしい。親が言っても許可されてないとかいって持っていけないので。学校の裏の小高い山崩れる心配はないのでしょうか？
- ・小学校と違い自分の意志で行動できるのであまり必要性を感じませんがいかがだろうか…。
- ・学校に迎えに行くことを想定して、考えておくべきだとは思ったが、引き渡し訓練実施とはイコールではないのかなと感じた。



- ・「備えすぎ」ということはないと思うので、引き渡し訓練は行うべきだと思う。なるべく本番に近いカタチでの訓練をしてほしいと思う。こういうアンケートを作っていただいてありがとうございます。意見を表明できる場があるのは良いことだと思うので。
- ・東日本大震災を通じて緊急時に祖父母に迎えを依頼するのは非現実的な事だと実感した。今回の引き渡し訓練を実施すると聞いた時に災害時について



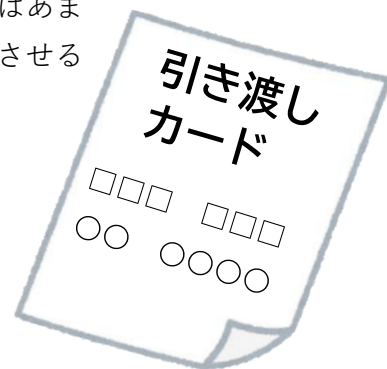
考えることができた。そして近所の同級生の親と相談し緊急時（災害時）には4家庭で連携することに決めた。



・引き渡し訓練の時に使用するとされた引き渡し用紙（引き渡しカード）は普段はあまり持ち歩かないのでは？と思う。身元確認の為とは思いますが、子供自身に確認させるなどのカードを持っていない場合の対応があると良いと思う。

・必要なことでもあるし、七中側でも実際に起きた時に向けて引き渡し訓練を行うことで課題や改善点がみえてくると思う。今回持参することになってきた引き渡しカードはペラペラの紙で持ち歩くには大きすぎる。財布やカード入れなどに入るもので、引きとりにくる保護者全員のカードが必要ではないかなど。取り組むことでわかることもあるのではないかな。

・府中市内の中学校で、引き渡し訓練は九中しかやっていないが、七中で引き渡し訓練をやる事に賛成。小学生とは違う中学生のやり方があるし、大地震後の通学路の安全確認を中学生に任せるのには難しいと、個人的に考えるからだ。



【3年生】

・引渡し訓練の必要性は理解しているが平日会社を休んで参加するのは難しい。

・これを機会に我が家でも話し合う時間を作る。集団下校訓練など、通学路の安全を確認できる機会があれば、引き渡しなどできないご家庭にも対応で

・中学生は自分の足で帰ってこられると思うが、やはり何かあった時心配になるので、在学中に1日でも訓練ができれば良いのかなと思った。

・小学校ではあったのに、中学校では無いのはなぜ？と思っていた。中学生になった事で、聞いていた通学路とは違うルートを使っている事もあり、その時々で行動が変わってくる年頃。引き渡し訓練を行う事で、子供がどの様なルートを使用するかを確認するにも実施するのは良いと思う。



編集後記 PTA会長 守田 亨

府中市内の中学校で、引き渡し訓練を実施しているのは九中のみです。そして、そうした試みが七中で実施されることはとても貴重なことだと思います。それは小学生の頃のそれとは違う中学生のやり方があるはずだからです。実際の大地震後、普段の通学路の安全確認を中学生に任せるのには難しいと考える保護者の方も多様な感じられます。また、引き渡し訓練への参加を考えていた方は今回のアンケートで78人いました。これだけの関心を持たれていたことはとても有難いことです。その一方で、防災について家庭内で話し合っていない家庭は、68人もいるという結果が出ています。関心はあっても実際には行えていない、こうしたギャップを埋めていくにはどうしたらいいのでしょうか。七中生も『東京防災』を活用した防災教育で養った知識を実践に活かせるようになることが必要で、それには七中生と教職員、そして保護者を巻き込んだ形の引き渡し訓練の実施が必要なのだと思います。実際に引き渡し訓練をやることで、それぞれに気づくことが多くあるはずで、季節・天候・時間帯などの違いによって、その状況は変わってきます。そうしたことをそれぞれの立場から考え、意見を交わすことこそが本来の訓練の意味ではないかと思っています。学校側からも資料が出されています。こうした資料を確認することで、保護者側の動機付けも高まっていくことでしょう。『阪神淡路大震災』以降、日本の防災関連する事柄は大きく変化しました。こうした防災の知識については、かなり個人差があると思います。職場で避難訓練をやっている人とやってない人、地域の防災訓練に参加している人と参加していない人によってもかなり違いがあると思います。しかし引き渡し訓練は、あくまでもきっかけに過ぎないと思います。引き渡し訓練を通じて、七中に関わる人たちが、世代の違い、立場の違い、持っている知識の違いなどを超えて、防災に関する事への共通理解を深めていくことに大きな意味を持つと思っています。今回多くの方々にこのアンケートにご協力頂けたこと、本当に感謝しています。引き続き、七中PTAの活動にご理解と

アンケートにご協力いただきありがとうございます。引き続き学校側の資料もご覧ください。
ご協力をよろしくお願い致します。

アンケートにご協力頂きありがとうございました。引き続き学校側の資料もご覧ください。

